

「学校設定科目」届 (指導と評価の年間計画)

教科	科目	開設学年 (年次)	単位数	教材名等
地理歴史	日本前近代史	3年	3単位	実教「日本史B」など

到達目標	2年次に学習した「日本史A」を踏まえて、前近代の日本史の展開を世界史的視野に立って総合的に考察させ、日本の文化と伝統の特色についての認識を深めさせるとともに、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。
到達目標に向けての具体的な取組【指導上の留意点】	史料・地図・写真などを用いて、具体的なイメージを持たせる。まとめプリントの配布や小テストの実施などを通して、知識の定着を図る。意見発表などを通して、思考力・資質の向上を図る。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法	評価のポイント
4月	原始・古代	旧石器時代・縄文時代・弥生時代に関して社会・文化の変化・発展について理解させる。	授業態度、プリント、小テスト、定期考査	(ア) (イ)
5月				(ウ) (エ)
6月				(ア) (イ)
7月	中世	古墳時代・大和時代に関して、政治組織の発達、文化の変化について理解させる。	授業態度、プリント、小テスト、定期考査	(ウ) (エ)
8月	中世	奈良時代・平安時代に関して、律令制度の変化、文化の変化について理解させる。	授業態度、プリント、小テスト、定期考査	(ア) (イ)
9月				(ウ) (エ)
10月				(ア) (イ)
11月	近世	戦国時代・安土桃山時代に関して、天下統一の動きや、文化の変化について理解させる	授業態度、プリント、小テスト、定期考査	(ウ) (エ)
12月				(ア) (イ)
1月	近世	江戸時代初期に関して、幕藩体制、身分制度の確立などを通して、現代社会につながる歴史的遺産について理解させる。	授業態度、プリント、小テスト、定期考査	(ウ) (エ)
		江戸時代中期に関して、幕藩体制の動揺などを通して、社会・文化の変化を理解させる	授業態度、プリント、小テスト、定期考査	(ア) (イ)

評価の観点：関心・意欲・態度(ア)、思考・判断・表現(イ)、資料活用の技能(ウ)、関心・意欲・態度(エ)